

# 中国景気概況(2021年7月)

2021年7月2日

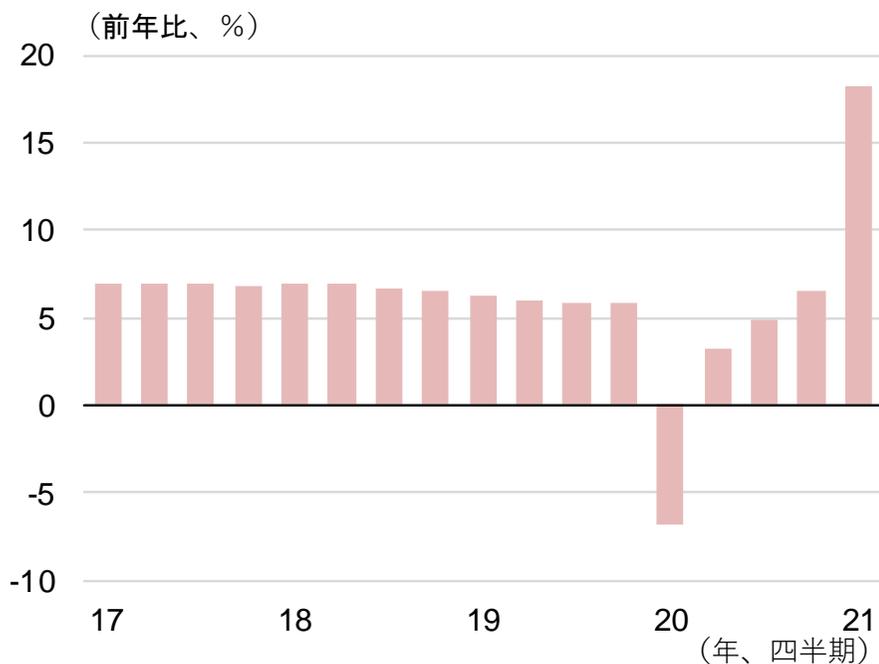
調査部 研究員 丸山 健太

# 景気は回復基調、PMIは堅調を維持

中国経済は回復基調が続いている。2021年第1四半期の実質GDP成長率は前年比+18.3%と、1992年以降で最大の伸びとなった。もっとも昨年の新型コロナウイルス感染症による落ち込みの反動が大きく、季節調整後の前期比で見ると+0.6%と、3%を超える増加が続いた昨年の後半と比べ、伸び率は鈍化した。

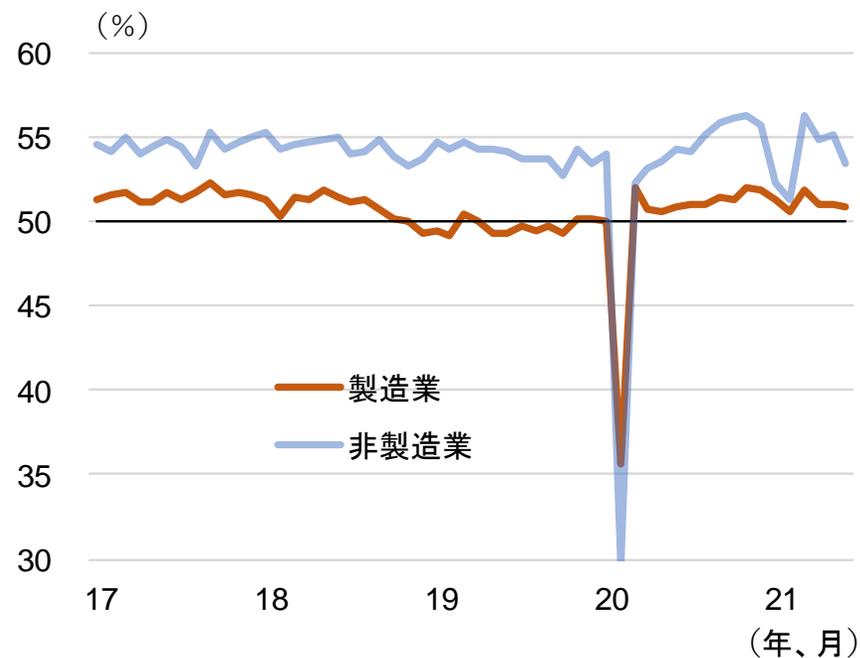
6月のPMIは製造業が50.9、非製造業は53.5と、いずれも景況感の境目である50を上回って推移している。

### 実質GDP(四半期)



(出所) 国家統計局

### PMI

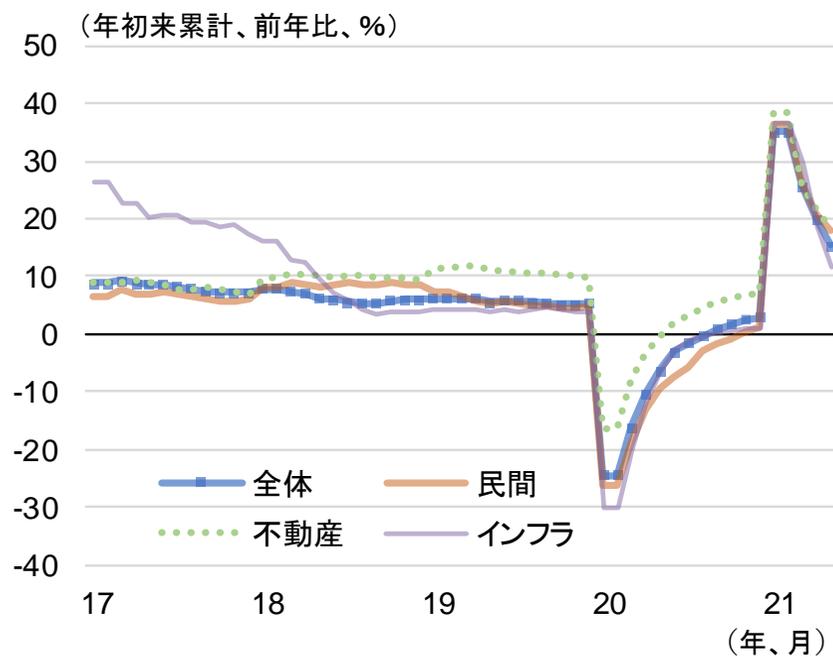


(出所) 国家統計局

# 固定資産投資、生産は増加

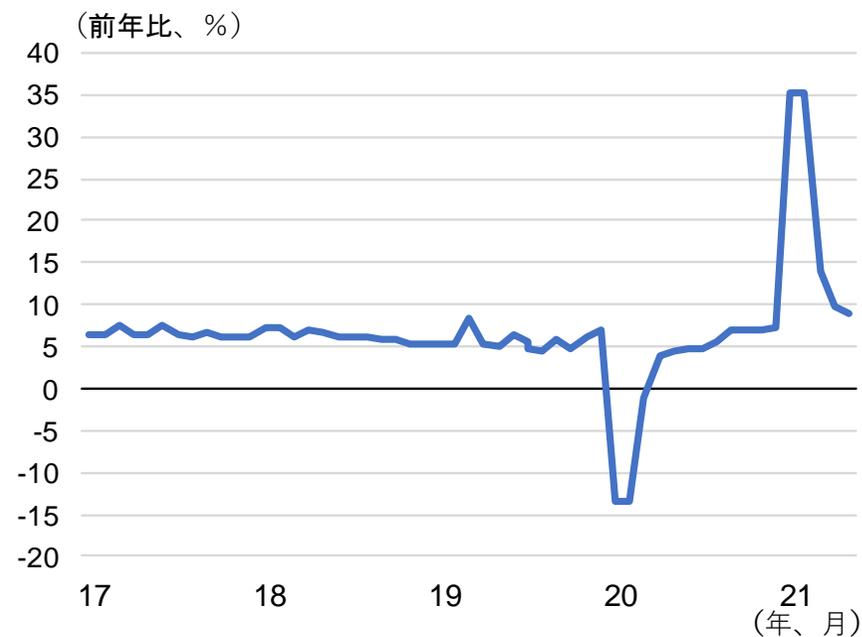
5月の固定資産投資(年初来累計値)は、前年比+15.4%と増加が続いた。民間投資(前年比+18.1%)、不動産投資(同+18.3%)、インフラ投資(同+11.8%)がいずれも増加した。また、5月の工業生産も前年比+8.8%と増加が続いた。コロナの影響を除いた2年前比でみると、医薬品やコンピューターなど、高い技術水準を要する業種で増加が目立った。これらの業種では、生産の強さを背景に、固定資産投資の増加率も大きい。

## 固定資産投資



(出所) 国家統計局

## 工業生産



(出所) 国家統計局

# 消費は回復、物価は持ち直し

5月の小売売上高(名目)は前年比+12.4%と高い伸びが続き、個人消費は回復している。コロナ前の2019年5月との比較でみると、財消費は順調に回復する一方で、宿泊や飲食などの接触型サービス消費の改善ペースは鈍い。ただし足元でワクチン接種は急速に進展しており、サービス消費も本格的な回復に向かう公算が大きい。

5月の消費者物価上昇率は前年比+1.3%と上昇が続いた。航空券、ガソリン・軽油の上昇が全体を押し上げた。

### 小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

### 消費者物価指数



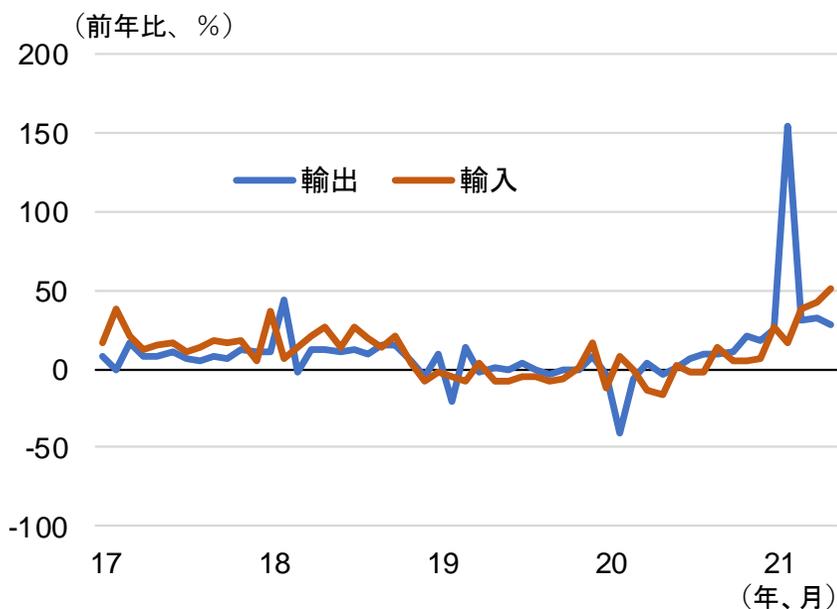
(出所) 国家統計局

# 輸出入とも増加が続く

5月の輸出は前年比+27.9%、輸入は同+51.1%と増加が続いた。資源高を背景に輸入の伸びが大きく、貿易黒字は455億ドルと、前年同月(629億ドル)から縮小した。輸出は、品目別では電子部品や自動車部品の寄与が、地域別ではASEAN向けの寄与が、それぞれ大きかった。また輸入は、資源価格の上昇で原油や鉄鉱石が大きく増加した。

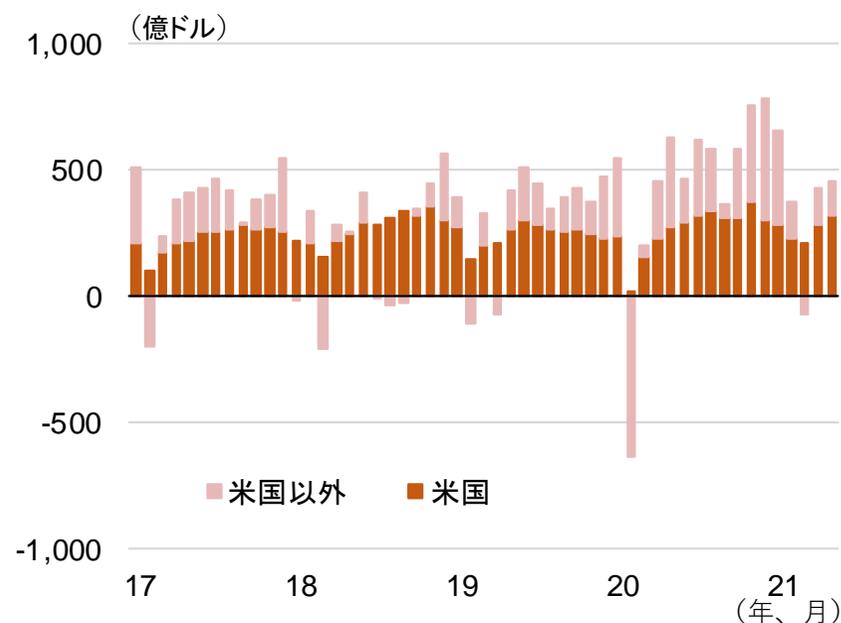
貿易収支は、対米国の黒字幅は前年同月から拡大したが、対EU、対オーストラリアなどで赤字幅が大きく拡大した。

### 財輸出入



(出所) 海関総署

### 貿易収支



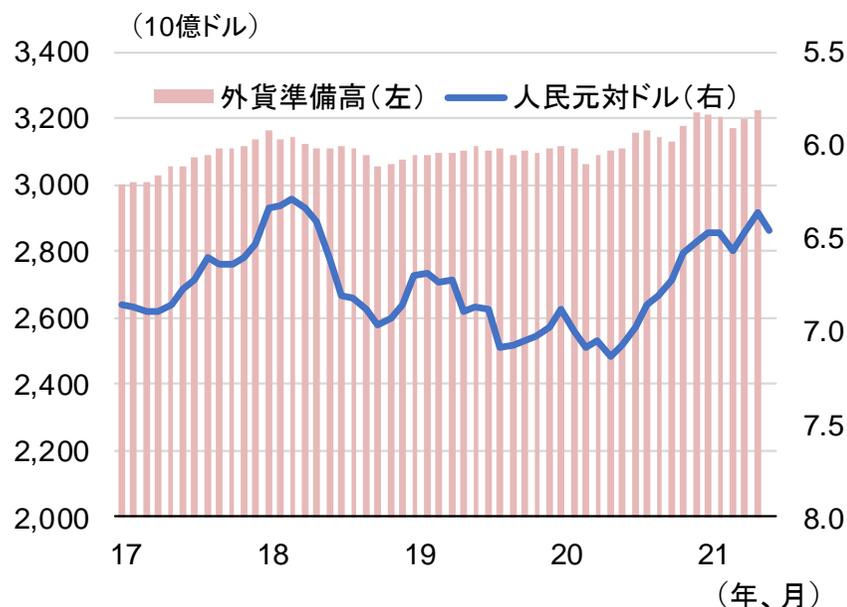
(出所) 海関総署

## 為替は元高が一服、株価は下落後、上昇

人民元の対ドルレート(6月末値)は1ドル=6.46元と、元高に歯止めがかかった。米国の利上げ観測でドル高が進んだことが背景にある。ただし月末にかけて利上げ観測は後退、再び元高方向への動きがみられた。5月末時点での外貨準備高は3兆2218億ドルと、2ヶ月連続で増加した。

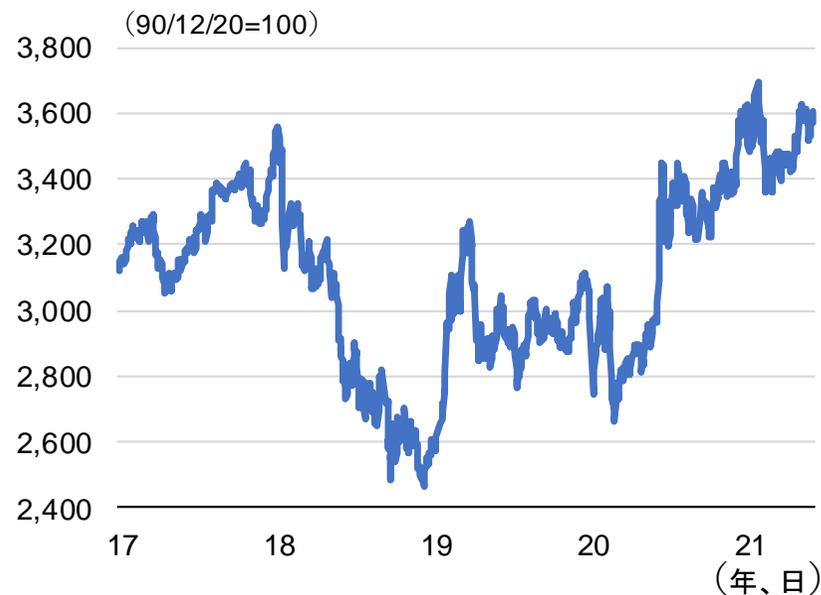
6月の上海総合株価指数は、中旬にかけて下落した後、上昇に転じた。(6/30:3591.20pt)。

### 外貨準備高



(出所) 中国人民銀行

### 上海総合株価指数

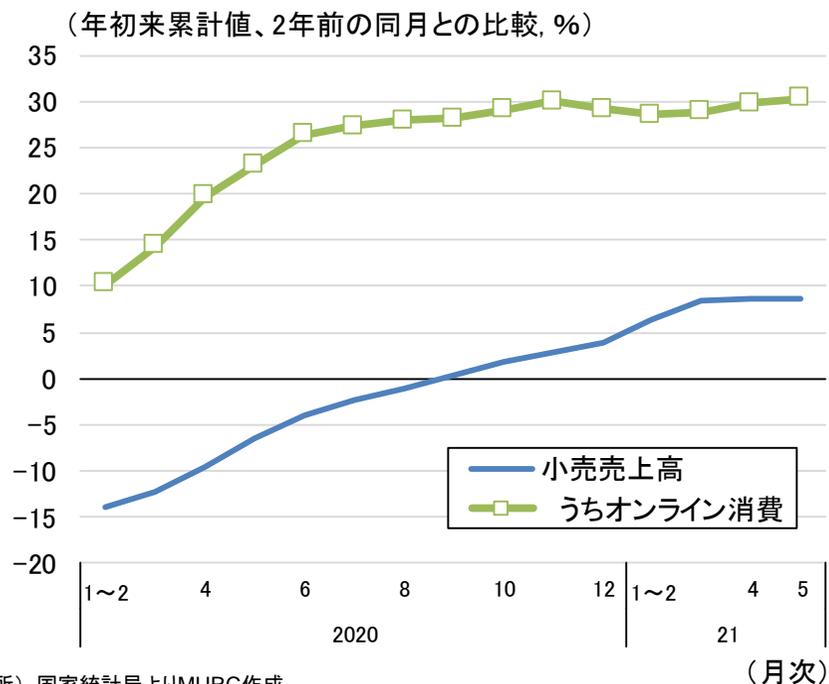


(出所) 上海証券交易所

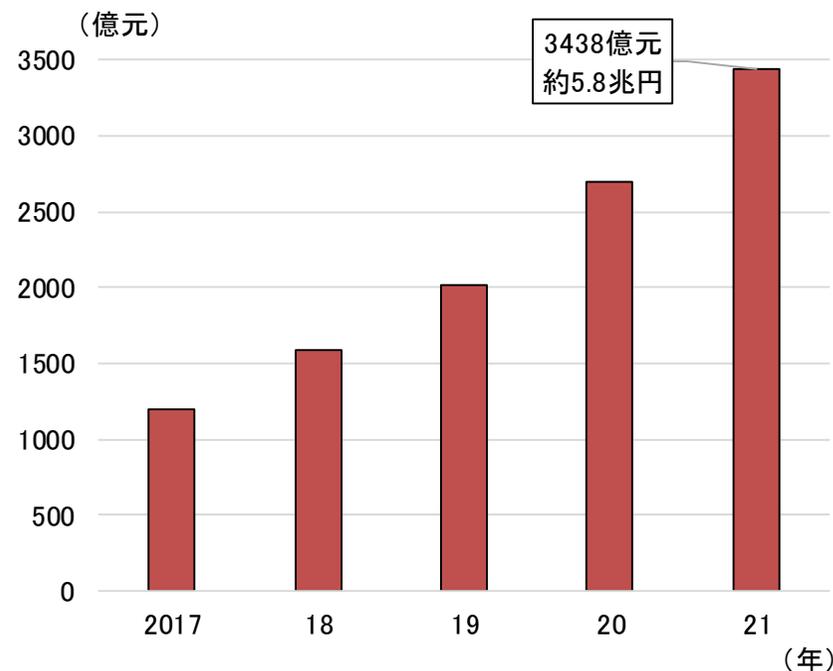
# オンライン消費が個人消費を下支え

足元では、人との対面が必要な旅行や外出などの「接触型サービス」消費の低迷が、個人消費の回復の重石となっている。一方、個人消費の約3割を占めるオンライン消費は、高い成長を維持しており、個人消費を下支えしている(左図)。最近では、EC大手・京東集団の創業記念セールとして注目される「618セール」での売上高が過去最高を記録した(右図)。

### 小売売上高(2年前の同月との比較、年初来累計値)



### 「618セール」における、京東集団の売上高



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 丸山 TEL:03-6733-1630 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください